

## 目標：「世界的研究拠点」のためのリサーチ・アドミニストレーションシステムの整備

### 強化する機能

#### A0 研究戦略立案のための情報収集と解析

- ◆競争的資金公募情報の収集、学内への周知、個別相談
  - ・大学おける研究の強みの発見、研究戦略の企画支援

#### B0 研究プロジェクト支援のURA業務

- ◆競争的資金公募情報の収集、学内への周知、個別相談
- ◆応募書類の内容チェックとアドバイス
- ◆模擬ヒアリング、模擬面接
- ◆ファンディング機関との調整
- ◆アウトリーチ活動の支援

#### B1 教育プロジェクト対応のURA業務

- ◆博士課程教育リーディングプログラムなどへの対応
  - ・教育には、多くの規則があり、その知識が必要
  - ・中央教育審議会等の議論の経緯の理解

#### B2 URAの全学展開と組織化

- ◆未配置部局へ本事業URAのローテーション派遣
- ◆自主経費URAの任用促進
- ◆URA(類似職)の学内ネットワーク形成
  - ・URA業務の組織としてのレベルアップと見える化
  - ・プロジェクトのPost-award業務の支援
  - ・学内URA(類似職)も含めて、相互研鑽、情報交換

#### B3 国際対応のURA業務

- ◆外国アカデミアとの共同研究に対するURA活動
  - ・資金獲得、経理・契約、報告、評価等への支援
- ◆外国人研究者のためのURA活動
  - ・科研費説明会の開催、申請書作成や経理等の支援

### URA職の定着に向けた取組

#### A1 URA活動の周知と啓発

- ◆教員に対するFD活動、事務職員に対するSD活動
  - ・URA活動への理解増進
  - ・事務処理へのURA的視点の導入

#### A2 URA人材の発掘と育成

- ◆URAに対する研修プログラムを策定
  - ・URAの質の向上、およびURA職を魅力あるものに
  - ・URAでない教職員にも開放し、修了者にはURA資格を与え、人事評価に反映
- ◆大学院生に対する説明会、大学院生・ポスドクインターンの受け入れ
  - ・博士人材のキャリアパスとしての職の理解と適性の判断
  - ・博士人材にとって、URAが将来性のある職であることを広める。

#### A3 URAキャリアパスの整備

- ◆職の明示
  - ・「リサーチ・アドミニストレーター」という呼称を冠して、業務を明示
    - 例：リサーチ・アドミニストレーター・特任講師
    - リサーチ・アドミニストレーター・専門職員
- ◆第3の職種の検討
  - ・教員、事務職員とは別の第3の職種を設けるか、メリット、デメリットを上げて、検討
- ◆URAの職階の整備
  - ・研修や業務経験等によるURA資格の認定
  - ・職階の規程整備

# 大阪大学におけるURAシステム整備事業の組織体制

